

【補遺】

※ #14で触れました《学生たちの回想記録》については データが膨大であるため そのうちの  
〔ケース 19〕のみを<第4章-4-(I)>の抜粋箇所での掲出としたものです。

● <第4章-3>の抜粋部分で ご参照の対象としました〔《学生たちの回想記録》の詳細〕に  
ついて著述されている箇所のうちで p.25の3行目から10行目までの『わたしは、学生たちの  
回想記録を読むまでは、(中略) 共通するものであることを示したいからに他なりません。』に  
関することです。

- ・ 各位には既にご推察のことと存じます。
- ・ 学生たちの回想記録に『絵本のなかのいくつかの印象的な主題』が普遍的に存在している  
ということは 換言するならば《言語として未だ発現し得ない年齢の子どもにあっても思考形態  
には表象されている》ということが理解できました。

また この事象が大人の介入を回避させる所以の一端でもある との理解もしました。